

○保育士専門試験問題例

問1 保育所保育指針第1章総則に関する次のA～Dの記述について、(1)～(10)にあてはまる語句を下記の語句群から選び、記号で答えなさい。

A 保育における(1)とは、子どもの生命の保持及び(2)を図るために保育士等が行う援助や関わりであり、保育所における保育は、(1)及び教育を(3)に行うことをその特性とするものである。

B 生命の保持に関わるねらいには、「一人一人の子どもが、健康で(4)に過ごせるようにする。」「一人一人の子どもの(5)が、十分に満たされるようにする。」などがある。

C 保育士等との(6)を基盤に、一人一人の子どもが(7)に活動し、自発性や探索意欲などを高めるとともに、自分への自信をもつことができるよう(8)を見守り、適切に働きかける。

D 一人一人の子どもの(9)、発達過程、保育時間などに応じて、活動内容のバランスや調和を図りながら、適切な食事や(10)が取れるようにする。

【語句群】

- | | | | |
|---------|----------|----------|-----------|
| ア. 信頼関係 | イ. 安全 | ウ. 主体的 | エ. 生活のリズム |
| オ. 一体的 | カ. 表情 | キ. 成長の過程 | ク. 自己肯定感 |
| ケ. 健康観察 | コ. 生理的欲求 | サ. 活動 | シ. 養護 |
| ス. 倫理観 | セ. 休息 | ソ. 情緒の安定 | |

問2 子どもの発達に関する次のA～Eの記述について、正しいものには「○」を、間違っているものには「×」をつけなさい。

- A 生後3か月頃から、自分の手を目の前にかざし、その手を真剣なまなざしで見つめるというハンドリガードと呼ばれる行動がよく見られる。
- B ピアジェの提唱する文化的、歴史的発達論によれば、発達は「社会から個人へ」、すなわち、成達は、環境のもつ社会、文化、歴史的側面が個人との相互作用によって個人の中に取り入れられる過程であるとされる。
- C オペラント条件づけは、古典的条件づけとも呼ばれ、パブロフが提唱した条件反射のメカニズムによって行動の変化を説明する理論である。例としては、病院で注射の痛みで泣く経験をした乳幼児が、医者の方ている白衣に似たものを見ただけでも泣き出すといったことが挙げられる。
- D 仰向けに寝ている新生児は、急に身体を動かされたり、大きな音を聞いたりすると、両手を広げ、何かに抱き付くかのような動作をする。これはモロー反射と呼ばれる原始反射である。
- E 親子の愛着関係には、3つのタイプがあり、「アンビバレント型」の愛着を示した子どもは、幼児期に、仲間に対して攻撃的、敵対的にふるまうことが多い。

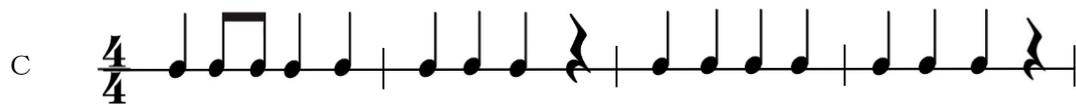
問3 児童虐待に関する次の記述について、(1) ~ (5) にあてはまる語句を記入しなさい。

- ・ 全ての子どもは、「(1) に関する条約」の精神にのっとり、適切な養育を受け、健全やかな成長・発達や自立が図られることなどを保障される権利がある。
- ・ 児童虐待の防止等に関する法律第2条の定義をもとに、身体的虐待、性的虐待、(2)、(3) の4つに分類される。
- ・ (4) は、子どもに関する家庭などからの相談に応じ、子どもが有する問題や子どものニーズ、子どもの置かれた環境の状況等を的確に捉え、子どもや家庭に適切な援助を行い、子どもの福祉を図るとともに、その権利を擁護することを主たる目的として都道府県等に設置されている行政機関である。
- ・ 児童虐待の対応においては、猶予を許さない緊急な対応が必要であることが少なくないことから、児童虐待の防止等に関する法律第8条第3項において、「児童の安全の確認、(4) への送致又は(5) を行う者は、速やかにこれを行うものとする。」と規定されている。

問4 「楽しく食べる子どもに～保育所における食育に関する指針～」(平成16年厚生労働省)の内容のうち、3歳以上児の食育の内容に関する次のア～コの記述について、「食と健康」、「食と人間関係」、「食と文化」、「いのちの育ちと食」、「料理と食」の5つのねらいに分類しなさい。

- ア 食材の色、形、香りなどに興味を持つ。
- イ 地域の産物を生かした料理を味わい、郷土への親しみを持つ。
- ウ 身近な大人や友達とともに、食事をする喜びを味わう。
- エ 自分たちで育てた野菜を食べる。
- オ 慣れない食べものや嫌いな食べものにも挑戦する。
- カ 挨拶や姿勢など、気持ちよく食事をするためのマナーを身につける。
- キ 身近な動植物に関心を持つ。
- ク 身近な大人の調理を見る。
- ケ 楽しく食事をするために、必要なきまりに気づき、守ろうとする。
- コ 食事の際には、安全に気をつけて行動する。

問5 次のA～Eは曲の歌いはじめのリズムである。それぞれにあてはまる曲名を下記の語句群から選び、記号で答えなさい。



【語句群】

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| ア. むすんでひらいて (文部省唱歌) | イ. 春が来た (詞:高野辰之/曲:岡野貞一) |
| ウ. シャボン玉 (詞:野口雨情/曲:中山晋平) | エ. かたつむり (文部省唱歌) |
| オ. こいのぼり (詞:近藤宮子/曲:不明) | カ. 夕焼け小焼け (詞:中村雨紅/曲:草川信) |
| キ. 赤とんぼ (詞:三木露風/曲:山田耕筰) | ク. 大きな栗の木の下で (イギリス民謡) |
| ケ. ぞうさん (詞:まどみちお/曲:團伊玖磨) | コ. うみ (文部省唱歌) |

問6 戸外で追いかけっこをしていた4歳時クラスの子どもに熱中症を疑う症状がある場合の対応について、あなたが担任ならどのような行動をとるべきかを述べなさい。

問7 保育所保育指針においては、保育のねらい及び内容に基づく保育活動全体によって、子どもの資質・能力を育むこととされているが、「道徳性・規範意識の芽生え」において、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」はどのような姿かを具体的に述べなさい。

問8 保育士は、児童福祉法第18条の4において「保育士の名称を用いて、専門的知識及び技術をもって、児童の保育及び児童の保護者に対する保育に関する指導を行うことを業とする者をいう。」とされている。次の(ア)～(オ)のうち1つ以上の用語を用いて、「専門的知識及び技術」とはどのようなことか、あなたが保育士として力を入れて取り組みたい事柄と併せて述べなさい。(800字程度)

(ア) 自己肯定感	(イ) 子どもの主体性	(ウ) 養護と教育
(エ) 発達過程	(オ) 保護者支援	